

# 脱炭素まちづくりアドバイザー紹介

氏名	小野尚弘	所属	株式会社大地とエネルギー総合研究所	
専門領域	小水力、営農型太陽光、バイオガス、木質バイオマス（主に熱利用）等再エネ導入計画、地域新電力	居住地域／活動地域	北海道札幌市 /北海道中心、全国も可	
		派遣形式	スポット型、伴走型共可	
略歴	<ul style="list-style-type: none"> <li>●株式会社丹青社（大型商業施設開発、遊休地活用等による地域活性化計画等の調査、企画、設計及び施行）</li> <li>●株式会社ポストンYA&amp;T研究所（都市計画・アーバンデザインによる街づくりの企画・設計等）</li> <li>●ペリージョンソン・レジストラ（ISO14001等審査機関、京都メカニズムの有効化審査、検証業務等）</li> <li>●株式会社大地とエネルギー総合研究所（北海道における小水力発電の調査～事業化及び支援）を創業、現在に至る</li> </ul>			
過去の地方公共団体との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●静岡県清水駅～清水魚市場周辺整備事業（清水市（現静岡市）、街並み・まちづくり総合支援事業、旧建設省）</li> <li>●地域主導型再生可能エネルギー事業化支援事業（北海道富良野市）</li> <li>●北海道における小水力発電普及による地球温暖化防止推進事業（登別市、旭川市他）</li> <li>●北海道八雲町熊石地区平田内川に水力発電事業（八雲町も出資する官民連携事業、令和6年夏運転開始）</li> </ul>			
一言	<p>人口減少、少子化、高齢化の進展が全国より10年早く進む課題先進地の北海道が、その課題解決の突破口になり得る武器が「再生可能エネルギー」と考えています。貴重な地域資源を有効活用し地域内経済循環を生み出すには、現在行われているような「場所貸し」の再生可能エネルギー事業ではなく、自分たちでリスクを取り、事業化しなければなりません。北海道の優位性である食と再生可能エネルギーを積極的に活用し、豊かで持続可能な地域づくりの手伝いが少しでもできたらと考えています。</p>			
参考URL	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開発こうほう2024年1月号「脱炭素～北海道における再生可能エネルギー第6回 北海道における小水力の課題と展望」 <a href="https://www.hkk.or.jp/kouhou/file/no725_decarbonization.pdf">https://www.hkk.or.jp/kouhou/file/no725_decarbonization.pdf</a></li> </ul>			